

おいしさ、けんこう、
つぎつぎ、わくわく。))



Press Release

神戸市中央区港島中町 6-13-4 フジッコ株式会社 プライム市場コード番号 2908 発信日:2025年 12月22日

日本の食文化を守る決意を全国の皆様へお届けします。 商品訴求からCSR広告へ方針転換 12月「黒豆CSR広告」TVCM放映のご案内 -「新穀黒豆奉納式」との連携で食育・和食文化継承活動を発信-

フジッコ株式会社（本社：神戸市中央区/代表取締役社長執行役員：福井正一）は、黒豆製品市場のリーダーとして、黒豆の普及啓発と和食文化の継承を目的とした CSR 活動を継続的に推進しております。この度、最大需要期である 12 月に放映する「丹波黒黒豆」の TVCM につきまして、従来の商品訴求を中心とした内容から、「食育活動の取り組み」と「和食文化継承活動」の紹介を軸とする、公共性の高い CSR 広告へと方針を転換いたします。



■取り組み背景

フジッコはパーパス・ビジョンとして、『5つの健康』を掲げています。その中に『健康提供』『健康社会』があり、日本の食文化の発展をもって社会に貢献いたします。

その取り組みの一環で、黒豆製品市場のリーダー企業の責務として、黒豆の普及啓発と和食文化の継承を目的とした活動を推進しております。「黒豆奉納実行委員会」を立ち上げ、「丹波の黒豆」が全国に広まる機会となった篠山藩から江戸幕府への「黒豆献上」を、2023年より徳川家と縁のある上野東照宮様のご協力をいただき奉納式という CSR イベントとして約 160 年ぶりに復活させ、継続的に実施してまいりました。

このイベントは大きな成果を上げており、多くのメディアでニュースになるなど、12月の風物詩として定着しつつあります。本年も12月9日（火）に丹波篠山での出立式、12月12日（金）に上野東照宮での奉納式を執り行いました。

■令和七年「黒豆奉納式」を上野東照宮・金色殿にて開催

江戸時代に篠山藩から黒豆が徳川幕府に献上されていた史実に則り、初代将軍家康公、八代将軍吉宗公、十五代将軍慶喜公が祀られている上野東照宮にて奉納いたしました。奉納式には、徳川宗家第19代当主である徳川家広氏や俳優・松平健氏にもご参加いただき、新穀の豊穰を報告するとともに、来年のさらなる豊作と、黒豆生産者や関係者の無病息災をご祈禱いたしました。

本年は、食育の観点から、松平健氏に鞘から黒豆を取り出す「黒豆鞘とり」を行っていただき、奉納いたしました。



■TVCM 広告方針の転換について

これらのリアルイベントとの連携を図るため、年末に放映している「丹波黒黒豆」のテレビCMを、これまでの商品訴求中心の内容から、当社の社会貢献活動である「食育活動の取り組み」と「和食文化継承活動」の紹介を軸とする、公共性の高いCSR広告に変更いたします。

この方針改訂は、当社品のみの売上拡大にこだわらず、黒豆市場全体の底上げと、和食文化継承の一助として「おせち」市場の再活性化を目的としております。現代人に不足しがちな栄養素をおいしく手軽に摂取できる「黒豆」の魅力を広く発信することで、市場全体の需要喚起を促す狙いです。そのため、今回の広告では特定の商品の掲載は控え、「黒豆」という原料そのものが持つ普遍的な価値に焦点を当てた内容といたします。

■TVCM 概要

1. 企画媒体 : TV スポットCM フジッコ丹波黒「和食文化継承」篇 2025年CSR版改訂
2. 放映エリア・期間・世帯GRP :
 - ・放映期間 2025年12月25日(木)～12月31日(水)
 - ・放映エリア 首都圏・近畿圏・中京圏・北海道・東北(各県)・新潟・長野・静岡・北陸(3県) 岡山・広島・山口・香川・愛媛・福岡
 - ・世帯GRP 約300%～500%
3. 対象商品 : 「黒豆」商材、「おせち」関連商材 ※具体的な商品紹介は無し
4. 目的 : ①「黒豆」商材の需要喚起 ②「おせち」市場の再活性化

■その他のCSR：和食文化継承・食育活動について

ユネスコ無形文化遺産に「和食」が登録されてから一昨年で10周年を迎えましたが、その背景には食の欧米化による「絶滅の危機」があり、保護・継承が喫緊の課題となっています。フジッコグループの食育活動は、日本食文化の保護・継承を軸に、現代人に不足しがちな「たんぱく質」「食物繊維」「カルシウム」「ミネラル」を手軽に補える健康食材「豆」「昆布」に焦点を当てています。これらを通じ、栄養バランスの改善を楽しく学べるプログラムを提供し、人々の健康支援に貢献してまいります。

具体的な取り組みとして、和食の作法を学ぶ「豆つかみゲーム小学生公式大会」や「黒豆栽培体験」を10年以上にわたり継続開催してきました。(※「豆つかみ大会」はコロナ禍以降休止しておりましたが、本年の「大阪・関西万博」にて6年ぶりに復活しました)

さらに2024年からは、新たな取り組みとして小学校中・高学年向けの副教材を制作・配布する企画を展開しています。本施策は段階的に規模を拡大し、2030年までに小学4年生の約5%にリーチすることをKGIとして設定しています(詳細は当社Webサイト：サステナビリティ重点課題にて公開)。

本教材は、小学生向けでありながら、管理栄養士を目指す大学生や大人向けの資料としても十分に活用できる内容と高い評価をいただいております。今後は、全世代に向けた啓発ツールとして幅広く活用してまいります。

大阪・関西万博

小学校対抗
まめっ子くん大会



表紙

小学校向け副教材

おいしいにっぽん
いただきます読本



採用校の授業の様子

NA:フジッコは
黒豆の食育体験活動や



BGM
♪まめに暮らす♪



※映像:丹波篠山での親子黒豆作付け活動
(6月作付け・8月土寄せ・10月枝豆収穫・12月おせち料理教室)

BGM
♪まめに暮らす♪



NA:和食文化継承活動
に取り組んでいます

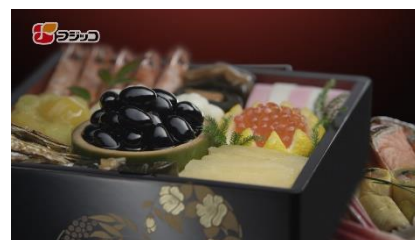


BGM
♪家族だんらん♪

※映像:新穀黒豆奉納式(12月)
黒豆奉納実行委員会は「黒豆」の知名度が全国的に広がる機会となった黒豆奉納式
(その年、収穫した新穀を篠山藩から江戸幕府に献上)
を令和五年より約160年ぶりに徳川家と縁のある上野東照宮にて復活しています



NA:一年のはじまりは黒豆にあり



NA:黒豆で健康を
フジッコ



<お問い合わせ先>
フジッコ株式会社 広報室 室長 新村剛 (しんむらたけし)
会社携帯 08024301980
メールアドレス: kouhou@fujicco.co.jp
ホームページアドレス: <https://www.fujicco.co.jp/>